

# あだち 足立おもしろ物づくり

あだちく すてき もの 足立区で素敵なお物づくりをされているお店を都市農・工房棟チームが取材 & レポート!!

## 小川畳店はこんなお店

足立区東和にある小川畳店(足立ブランド認定企業)は、1970年創業の畳屋さんです。畳屋さんのそもそもの始まりは、戦後間もない頃、今のご店主小川崇さんのおじいさんの時代にさかのぼります。



小川さんご夫妻(中央は筆者)



暖簾分けの時代がお店の神棚からも偲ばれる

千葉出身のおじいさんは、若い頃に北千住の畳屋さんで修行を積み、そこから独立しました。その後、小川さんのお父さんの時代に暖簾分けし、今のお店ができました。2代目ご店主の小川さんもまた、おじいさんの創業のお店で修行すると同時に、畳専門の学校で学び、技術を磨いたのです。

## 畳素材のおしゃれアイテム

なかなか畳に触れる機会が少なくなった今の生活の中で、小川畳店では「畳に触れる機会を増やそう!」と、畳の素材を使った小物、今までになかったデザインの畳縁を取り入れた畳も扱っていますよ!

たたみべり せい がた 畳縁製のリボン型グローブ



蝶ネクタイ&チーフも畳縁でできている



和服デザイナーさんとコラボした畳縁。アフリカンテイストで斬新な仕上がりに!



ブランドロゴ「tatamiglam」

特殊な折り方の畳表と帆布のクラッチバッグ。内側には小川畳店のラベルが

## 畳ができるまで



畳表をはる「框縫機」昔は畳を手で叩いて目通して固定しながら作業した



専用の定規で畳のサイズを測る

畳は、畳表 畳縁 畳床からなっています。畳床は長期間もつので、普段の畳店では畳表を張り替える仕事になります。最初の作業は張替前の畳のサイズを正確に測ること。そのデータを2つの機械に送信してスタートです。



畳表 畳床

張替前の古い畳

## 1. 畳表の張りかえ

専用の機械を使って畳表を張りかえます。加圧して畳表を挟んでしっかり伸ばし、畳床に留めていきます。

小川畳店は、熊本県のイグサ(畳表の材料)農家さんとの繋がりが深く、品質の良い畳表を比較的安く提供できるのが強みです!



畳縁を縫い付ける「両用機」右の畳縁は人気漫画『鬼滅の刃』の主人公、竈門炭治郎をイメージしたカラー

## 2. 畳縁の縫い付け

畳表を張り替えたら、機械で端の余分を切り落とし、畳縁を縫い付けて完成です。昔は太くて長い針や大きな刃物を使ってやっていた作業です。



昔ながらの道具、針を刺すために手に革製の当て物をつける



都市農でも「畳づくりワークショップ」やゴザのレンタルなどご協力いただいております。今後とも、たのしい企画を、乞うご期待!

2020年6月号(年3回発行) 発行所: 足立区都市農業公園

(取材: 梯・桑田)

